

西ヶ丘開発・産業集積地 (旧南部工業団地) 整備計画

着手から8年経過も展望ナシ 経済的・地理的条件の厳しさ直視を

「人口激減」「財政危機宣言」の下
根本的見直し求める

9月定例会の一般質問(6日)で、西澤議員は、岡山県奈義町に学んで子育て応援施策の優先が必要で、工業団地造成に熱中する余裕などない、と訴えました。

産業用地創出に係る土地利用計画検討業務委託報告書が提出されたのが平成27年11月、もうすぐ丸8年となる。また、西明寺さんに対して着工の協力依頼から6年半が経過している。にもかかわらず、売却の大前提である所有権の確認、開発要件の初歩的整備にも見通しが立たないなど、事業推進主体である甲良町行政のマネジメント力量の根本的欠陥ともいわざるを得ない実態があらわになった印象を抱いています。

未だ見通しが立たない中、何が原因と考え、障害となっている問題は何か、担当課、町長で明確に掌握しているのか。

◆集積地内道路が町有地ではないことが判明して、新たな困難な課題が浮上したと見ています。◆進入路の確保、土質など、地理的立地条件の根本的欠陥を直視しなければならぬのでは。

◆上下水道の敷設には、山間部であることなど、技術的にも難工事が予想され、甲良町にとっては莫大な費用が掛かり、当初計画の進行は非常に困難を極めると見た方がよいのでは、と考えるが？

◆この事業の目的に、人口減少に歯止めをかけることを掲げているが、過去の企業誘致で人口が増えている、これが歴然とした事実ではありませんか。

◆奈義町に学ぶなら、総合的な5つの安心を着実に進めることではないか。

⑤県内の企業誘致のための土地造成事業(工業団地づくり)の現状を検証することが重要では。

◆米原駅東で国道8号に面した一等地でも売れ残っている現実を直視すべき。

◆凍結も含め、根本的な見直しを求め、ハコモノ、開発優先ではなく、命とくらしを守る支援策充実を求めて、今後とも尽力することを表明します。

過去の企業誘致で人口増えず

過去の企業誘致(北海道製缶、北落工業団地)の総括と検証が必要では。

◆この事業の目的に、人口減少に歯止めをかけることを掲げているが、過去の企業誘致で人口が増えている、これが歴然とした事実ではありませんか。

◆奈義町に学ぶなら、総合的な5つの安心を着実に進めることではないか。

⑤県内の企業誘致のための土地造成事業(工業団地づくり)の現状を検証することが重要では。

◆米原駅東で国道8号に面した一等地でも売れ残っている現実を直視すべき。

◆凍結も含め、根本的な見直しを求め、ハコモノ、開発優先ではなく、命とくらしを守る支援策充実を求めて、今後とも尽力することを表明します。

「紙の保険証は残して！」の請願 不採択

犬上生活と健康を守る会(今村恵美子会長)から提出された紙の健康保険証存続を求める請願は6日、9月定例会初日に向けられ、賛成3(木村、丸山、西澤)、反対7(建部議長は採決に加わらず)で不採択となりました。

同請願は議会運営委員会で、委員会付託が省略されたため、4日に請願者の趣旨説明と質疑応答の場が設定され、今村会長が請願趣旨を説明。野瀬議員が『残せ』という趣旨ではなく、『早期にトラブル解決を』という請願なら理解できるなどと発言。今村会長は欧米と比べてもセキュリティが甘く、また、高齢者が対応できないなど、紙の健康保険

証を残すことが一番の解決方法だと強調していました。

紹介議員の西澤議員は、本会議で、厚労省自身が「診察時には紙の保険証も持参を」と呼びかけざるを得ないほどマイナンバーカードに健康保険情報をひも付けする「一体化」の方針が破綻していること、多くの医療機関で「他人情報登録」「資格確認不能」などの致命的な不具合が続出していることなどをあげ、請願への賛同を呼びかけました。

木村議員、丸山議員が賛成討論、野瀬議員が反対討



▶産業集積地整備業者募集要項より

甲良民報

2023年9月17日 894号
発行責任：日本共産党甲良町議員
連絡：甲良町在士373(西澤)
Tel: 38-4949 Fax: 38-2242

ご相談・ご要望をどうぞ。 ☆くらし・税金・教育などの相談は 西澤伸明 38-4949

◎日本共産党の見解を紹介します。メール shigakoura.jcp@ares.eonet.ne.jp ホームページもごらんください【「西澤伸明」で検索】